



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東
コード番号 7030 URL <https://sprix.inc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 利英 TEL 03(6416)5476
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	22,781	4.7	153	29.2	191	60.1	27	—
2023年9月期第3四半期	21,750	3.0	119	△90.2	119	△90.2	△16	△102.2

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 25百万円 (—%) 2023年9月期第3四半期 △21百万円 (△102.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	1.58	1.57
2023年9月期第3四半期	△0.94	△0.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	18,976	9,087	47.7
2023年9月期	20,143	9,706	48.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 9,044百万円 2023年9月期 9,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2024年9月期	—	19.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,050	5.6	1,050	△20.4	1,050	△20.4	450	△19.9	26.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社イングリッシュスクエア、除外 1社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	17,777,100株	2023年9月期	17,633,250株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	337,085株	2023年9月期	341,085株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	17,428,692株	2023年9月期3Q	17,276,860株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足踏みがみられるものの設備投資等で持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復傾向にあります。先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果が奏功し、堅調な回復が続くことが期待されますが、中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れリスクに加え、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注視する必要がある状況が続いております。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化が進むなかで、様々な教育制度改革が進行しております。また、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性も一層高まってきております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,781百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は153百万円（前年同期比29.2%増）、経常利益は191百万円（前年同期比60.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費）は1,056百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

セグメント情報は次の通りです。

「森塾」

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において221教室（前年同期比19教室増）展開しております。生徒数が堅調に推移した結果、当第3四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は46,048人と、前年同期比2,554人増となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注1）	11,356百万円	11,920百万円	5.0%増
セグメント利益（注1、2）	2,339百万円	2,755百万円	17.8%増
EBITDA（注3）	2,502百万円	2,862百万円	14.4%増
教室数	202教室	221教室	19教室増
生徒数	43,494人	46,048人	2,554人増

注1）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注2）セグメント利益は、のれんを除く無形固定資産の償却費を反映しております。

注3）EBITDAは、営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費であります。

「湘南ゼミナール」

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において203教室（前年同期比6教室増）を展開しております。2024年春の合格実績は前年に引き続き回復し、小学生のコンテンツ拡充およびマーケティング強化により、主要コースである総合進学コースの小学生の生徒数は前年同期比で増加したものの、当第3四半期連結会計期間末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は18,023人（前年同期比433人減）となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	6,173百万円	6,363百万円	3.1%増
セグメント利益	309百万円	277百万円	10.5%減
EBITDA	564百万円	598百万円	5.9%増
教室数	197教室	203教室	6教室増
生徒数	18,456人	18,023人	433人減

「河合塾マナビス」

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして51教室（前年同期比1教室増）を展開しております。全学年の生徒数が前年同期比で増加した結果、当第3四半期連結会計期間末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は4,365人（前年同期比221人増）となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	1,987百万円	1,953百万円	1.7%減
セグメント損失(△)	△25百万円	△96百万円	—
EBITDA	100百万円	70百万円	30.0%減
教室数	50教室	51教室	1教室増
生徒数	4,144人	4,365人	221人増

「その他」

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第3四半期連結会計期間末において直営6教室（前年同期比増減なし）、FC216教室（前年同期比21教室増）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレストシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも堅調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「SPRIX LEARNING」「DOJO」や、サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。さらに、投資フェーズではありますが、国際基礎学力検定「TOFAS」の受験者数は累計750万人となり、順調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、18,976百万円（前連結会計年度末比1,167百万円減）となりました。主な要因は、未収入金が1,203百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、9,888百万円（前連結会計年度末比548百万円減）となりました。主な要因は、未払金が632百万円増加したものの、前受金が1,202百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、9,087百万円（前連結会計年度末比618百万円減）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより659百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月10日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,007	4,935
売掛金	381	377
商品及び製品	297	409
仕掛品	45	42
貯蔵品	24	50
未収入金	2,430	1,226
その他	757	1,099
貸倒引当金	△37	△47
流動資産合計	9,906	8,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,268	3,745
土地	450	517
その他 (純額)	108	135
有形固定資産合計	3,828	4,397
無形固定資産		
のれん	2,496	2,261
ソフトウェア	207	196
その他	927	763
無形固定資産合計	3,631	3,220
投資その他の資産		
投資有価証券	20	273
繰延税金資産	605	795
敷金及び保証金	2,044	2,094
その他	107	101
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,777	3,264
固定資産合計	10,237	10,882
資産合計	20,143	18,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	103	109
未払金	1,543	2,176
短期借入金	754	1,023
1年内返済予定の長期借入金	363	363
未払法人税等	171	180
未払消費税等	200	275
前受金	4,264	3,061
賞与引当金	441	410
その他	700	519
流動負債合計	8,543	8,120
固定負債		
長期借入金	727	543
役員退職慰労引当金	73	74
退職給付に係る負債	124	126
資産除去債務	968	1,023
繰延税金負債	0	0
固定負債合計	1,893	1,768
負債合計	10,437	9,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,438	1,444
資本剰余金	1,428	1,434
利益剰余金	7,173	6,541
自己株式	△380	△377
株主資本合計	9,659	9,043
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2	0
その他の包括利益累計額合計	2	0
新株予約権	44	43
純資産合計	9,706	9,087
負債純資産合計	20,143	18,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	21,750	22,781
売上原価	15,027	15,992
売上総利益	6,723	6,788
販売費及び一般管理費	6,604	6,634
営業利益	119	153
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	—	31
業務受託料	0	1
助成金収入	1	0
受取手数料	2	—
その他	2	14
営業外収益合計	7	48
営業外費用		
支払利息	3	5
支払手数料	—	0
その他	3	5
営業外費用合計	7	10
経常利益	119	191
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	—	5
減損損失	—	17
特別損失合計	—	22
税金等調整前四半期純利益	119	172
法人税、住民税及び事業税	212	333
法人税等調整額	△75	△188
法人税等合計	136	145
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△16	27
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△16	27

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16	27
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△4	△2
その他の包括利益合計	△4	△2
四半期包括利益	△21	25
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20	25
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	610百万円	585百万円
のれんの償却額	247百万円	295百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	11,356	6,173	1,987	19,517	2,233	21,750	—	21,750
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	11,356	6,173	1,987	19,517	2,233	21,750	—	21,750
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	101	101	△101	—
計	11,356	6,173	1,987	19,517	2,334	21,851	△101	21,750
セグメント利益 又は損失 (△)	2,339	309	△25	2,624	△664	1,959	△1,840	119

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,840百万円には、のれんの償却額△228百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,611百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	11,920	6,363	1,953	20,237	2,543	22,781	—	22,781
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	11,920	6,363	1,953	20,237	2,543	22,781	—	22,781
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	2	2	△2	—
計	11,920	6,363	1,953	20,237	2,546	22,784	△2	22,781
セグメント利益 又は損失(△)	2,755	277	△96	2,935	△898	2,037	△1,883	153

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,883百万円には、のれんの償却額△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。